

朝霞市自殺対策計画（案）に関するパブリック・コメント（意見募集）結果

1. パブリック・コメント実施概要

1	内容	市の自殺対策の推進を図るために策定する朝霞市自殺対策計画について市民の皆さんからの意見を募集しました。
2	意見募集期間	令和元年12月10日（火）～令和2年1月10日（金）
3	意見提出対象者	市内に在住、在勤・通学されている方、この計画に利害関係を有する方
4	公表資料	朝霞市自殺対策計画（案）
5	提出意見数	2通（4件） 内訳／個人1 団体1 内訳／電子メール1通 ファックス1通 郵送0通

2. パブリック・コメント集計

番号	内容	意見概要	市の考え方	変更の有無
1	SNS 相談窓口の設置	子どもや若い世代ではSNSでのやり取りが日常化しており、電話や対面での相談は敷居が高いとおもわれます。 SNSは手軽に相談でき、悩みが深刻にならないうちに解決へ向かう事が出来るのではないのでしょうか？ 厚労省の窓口は全国対応の為、繋がりにくい状況にあり市独自でも設置してはどうかと思います。	重点施策（1）若年者層対策として、こころの健康相談等で相談を実施しております。SNSは手軽に利用していただける可能性が高いものの、相談内容によってはSNSでは対応ができない事案もあることから、今後、市としての相談体制の在り方について、検討をまいります。また、現在実施されている厚生労働省のSNS相談窓口等について情報提供をまいります。 計画書8ページ2（1）－10の事業概要について、追加修正を行いました。	有
2	無料、又は低額のカウンセリング	自殺を考える原因として、うつ等の精神的な疾患から就労が困難となり、経済的に苦しい状況になってしまう悪循環や社会からの孤立が考えられます。 負担なく、気持ちを受け止めてもらえる場所、人と繋がれる場所があれば心の回復にも役立つと思います。	重点施策（1）若年者層対策（2）中高年層対策として、こころの健康相談等で相談を実施しております。自殺を考える様々な原因があり、各種相談事業を通して、気持ちを受け止め支援をしていくこととしています。庁内の関係施策との連携を強化し、総合的に取り組むよう努めてまいります。	無

3	ゲートキーパー養成講座	自殺を防ぐには、身近な人が異変に気づき、声をかける事が大切なので、それを多くの方に知ってもらい、適切な声かけができるようになれば良いのではないかと思います。	重点施策（3）ハイリスク者対策として、教職員向け、職員向けの各ゲートキーパー研修を実施しておりますが、今後、自殺対策を住民にも身近なものとしていけるよう、精神保健に関する市民向けの講演や講座等の企画・実施も検討し、知識や情報の普及に努めてまいります。	無
4	高次脳機能障害のある方への支援	（3）住民への周知・普及啓発、（4）生きることの促進要因への支援に認知症総合支援は位置づけられておりますが、高次脳機能障害者への支援について言及がございません。 第5次朝霞市障害者プランでは「精神障害のある人（発達障害・高次脳障害を含む）への理解の促進」、「介護保険との連携」のところで、高次脳機能障害のある方への支援について記されておりますので、朝霞市自殺対策計画でも、高次脳機能障害について、支援していく施策を記してください。	（3）、（4）における取り組みでは、こころの健康相談や精神保健福祉相談、障害等に関する個別相談、福祉の総合相談などにおいて高次脳機能障害、若年認知症も含め、幅広く対応しております。今後についてもそれらの対象者が制度の狭間になり支援が途切れない支援体制や取り組みについて、今後引き続き検討を重ねてまいります。	無